

市の動き

消防団協力事業所表示証を新たに交付

市は、複数の従業員が消防団員として入団している事業所や、災害時などに消防団に資機材を提供している事業所などに対し、北上市消防団協力事業所表示証を交付しています。このたび、8月22日付けで2事業所に、9月19日付けで1事業所に同表示証を交付しました。



社会福祉法人博愛会の及川優理事長(中央)と福地弘施設長(右)



高橋板金工業所の高橋博範さん(右)



岩手県農業共済組合中部地域センターの名須川義夫統括理事(右)



- 社会福祉法人博愛会(立花)
 - 高橋板金工業所(川岸)
 - (8月22日交付)
 - 岩手県農業共済組合中部地域センター(花巻市下根子)
 - (9月19日交付)
- これまでに交付を受けた協力事業所は23社となりました。認定の有効期間は、認定の日から2年。同表示証は事業所などに掲示されています。
- ▼申し込み・問い合わせ：消防防災課 ☎72-18305

衆議院議員総選挙の開票結果(北上市開票区)

第48回衆議院議員総選挙および最高裁判所裁判官国民審査の投票が10月22日、市内56カ所の投票所で行われました。開票の結果、市内の投票率は小選挙区が58.61%(前回比2.94ポイント増)、比例代表が58.61%(前回比2.95ポイント増)、国民審査が58.50%(前回比4.10ポイント増)でした。詳細は次の通りです。

小選挙区

候補者名(得票順)	得票数
小沢 一郎	22,529票
藤原 たかし	21,235票

比例代表

政党名(得票順)	得票数
自由民主党	12,733票
希望の党	10,028票
立憲民主党	9,232票
公明党	3,753票
日本共産党	3,351票
社会民主党	2,253票
日本維新の会	1,283票
日本のこころ	340票
幸福実現党	284票

選挙当日の有権者数 77,327人
投票者数 45,323人
投票率 58.61%

選挙当日の有権者数 77,327人
投票者数 45,319人
投票率 58.61%

※国民審査の投票数は省略します。

都市ブランドメッセージ「KitaComing!北上市」ロゴマーク使用受付開始

7月にデザインが決まった都市ブランドメッセージ「KitaComing!北上市」ロゴマークの使用受付を9月28日に開始しました。

企業・団体・市民など、なたでも無料で使用できます。希望に応じて、4文字以内の

言葉を添えたオリジナルのロゴマークを制作します。詳しくは都市プロモーション課までご相談ください。使用には申請が必要です。ロゴマーク使用の詳細や申請方法は市のホームページ(<http://www.city.kitakami.iwate.jp/>)

市内の避難者状況

(9月30日現在)

県市町村	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市	陸前高田市	宮城県	福島県	合計
世帯	11(0)	22(0)	11(0)	6(-1)	8(0)	3(-2)	1(0)	62(-3)
人数	22(1)	35(0)	23(0)	10(-2)	10(0)	5(-3)	2(0)	107(-3)

※()は6月比。市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

※広域避難者の住宅再建が進んできていることや、みなし仮設入居者や転入被災者などの変動も小さくなっていることから、本年度は3カ月ごとに掲載します。

docs/2017092100073)で紹介しています。また、広報きたかみ第642号(11月24日発行)にも掲載予定です。

▼申し込み・問い合わせ：都市プロモーション課 ☎72-18308

公共交通の利用促進の一環として

路線バス乗り方教室を開催

路線バスの乗り方教室は、北上市立江釣子保育園年長児編は2日、江釣子保育園および、その周辺で開催されました。

6月1日に策定されたあじさい都市きたかみ公共交通ネットワーク形成計画に基づく利用促進の取り組みの一環として、市都市計画課と岩手県交通(株)の共催で実施。同計画では32年度までに市内を運行する路線バスおよびコミュニティバスの総利用者数を26年度の約63万7千人から3千人増加させることを目標としています。

同教室は、小学校入学後に路線バスで通学する生徒がい

る江釣子保育園の年長児クラスを対象に24人が参加し実施。園児たちは、バスの乗り降りの仕方やバスの設備について説明を受けた後、実際に乗車しバスの乗降を体験しました。また、バスの運転席に座り、

死角を学んだほか、停車するバスの動きについても理解を深めました。バスの利用促進と安全な乗降の啓発のため、今後も同教室を開催していく予定です。

手づくり地蔵人形



東日本大震災の復興状況視察のため、釜石市を訪問された市民からお手紙をいただいた。それは北上市民にとっても誇らしく、その一部を紹介させて頂きたい。

らず、半年間、毎月毎月、命日に仙寿院に探しに來られ、決まって「誰のでもいいから身元不明の骨を私にけれないか」と懇願する。ご近所のご主人に対し、「それは出来ない事」とつらい返事を繰り返すしかなかった住職が、ご本人の代わりにとその人形を手渡すと喜んでそのご主人は大事そうに抱えて帰られたという話は涙を誘いました。ご住職は地蔵人形の送り主に御礼をしたく色々調べてはみたものの、現在も送り主は解らないとの事です。後文略。

ソソ大会に従事しいイベント運営を学んだほか、観光の振興などについて研修しました。本年度、北上市からは30年1月に一カ月間の派遣を予定しています。

友好都市石垣市と職員交流

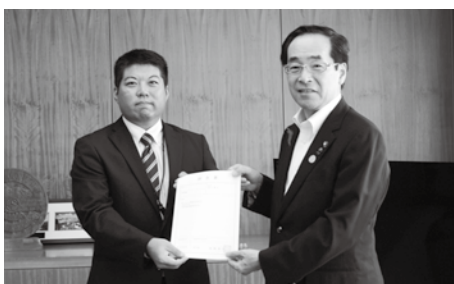
石垣市の兼久主事が北上市で研修

友好都市石垣市との職員交流は28年度から始まり、本年度で2年目を迎えました。9月19日に石垣市農林水産部むらづくり課の兼久勝太主事が着任。10月20日までの一カ月間、市内で研修を行いました。研修では市内企業の視察や農業体験、北上マラソンに従事するなど、北上市について理解を深めました。

職員交流は28年9月に締結した「石垣市と北上市の職員交流に関する協定」によるもの。昨年度も同時期に石垣市から受け入れ、29年1月には北上市職員を石垣市に派遣された職員は石垣島マラ



バスを待つ園児たち。バスの乗り方のほか、風船を利用しバスの死角なども学びました



着任の辞令交付を受け、高橋市長(右)と記念撮影を行う兼久主事(左)

前文略：大只越町の高台にある仙寿院のご住職からは、避難所となった当時の状況を説明して頂くとともに大変貴重なお話を伺うことが出来ました。震災直後から遺骨が次々に運び込まれる、ある日、北上市のある匿名の方から400個の手作り地蔵人形が供養のために送られてきたというのです。津波で亡くなられた方の多くは、身体全体の骨が揃っていないため、ご住職は身元判明のご家族には、骨と一緒にその人形を添えてお渡ししてきたそうです。…未だ奥さまの行方が解

匿名で400体もの手作り地蔵人形を寄贈された北上市民がいた事、その人形が奥さまを亡くされた被災者の心を癒してくれた事に感動と誇りを強く感じる内容であった。あの震災からもうすぐ7年。昨年は復興国体が開催され、2019年にはラグビーワールドカップが釜石市で開催される。華やかな一面、まだまだ復興に乗り切れない人々もいる事を心に留めながら、これからは素晴らしいお手紙をくださった市民に心から御礼申しあげたい。